

鹿猿狐ビルディング

奈良県奈良市

設計・監理 / 内藤廣建築設計事務所
施工 / 平井建設



建物外観 透明感のあるガラスのカーテンウォール

中川政七商店は1716（享保元）年創業の麻織物製造の老舗である。近年では全国の小規模クラフトのネットワークをつくって店舗展開をし、新しい業態として注目されているが、その奈良の本拠地の設計を依頼された。

猿沢池にほど近い古い街並みに囲まれた敷地を訪れたとき、まずはマナーとしてできるだけ家並みに合わせることを決めた。狭い道に対して後退していく瓦葺きの二段屋根、リン酸処理をしたディテールのある軒先の小庇、いってみれば、街の大きな基調から人の目線に近いところまで、街並みの髣髴を乱さぬように全体を構成した。

1階は猿田彦珈琲と瓦つねの飲食、2階は中川政七商店の店舗、3階はJIRINのワークキ

ングスペース。建築的にこだわったのは、伝統的な瓦屋根の存在感のあるスタイルと、まったくモダンで透明感のあるガラスのカーテンウォールとの対比だった。道に対してより良い環境を得ようとすれば開けていた方がよい。開放的に作っておけば、使い勝手によって視線を遮断していくこともできる。1階は街路、2階は街並、3階は遠くの景色をまるごと内部に呼び込むような建物を目指した。3階建てで異なる用途の複雑なプログラムを解いていかなければならないのだから、木造では荷が重い。鉄骨を木造のような部材寸法で構成できれば、それは周囲の町家とも空間的にシンクロするだろうと考えた。細い柱と背の低い梁で構成される3.6mスパンのブ

リッドを鉄骨造で構成する。このことを前提にKAPの岡村仁さんに構造を依頼した。設計終盤になっても、内部の使い勝手やテナントがなかなか決まらなかった。そのあたりはモジュール化された鉄骨のユニバーサルスペースだから対応がしやすかった。

敷地の奥に小さな坪庭をつくり、薄暗い通り抜けを作って、その向こうにそれが見えるようにした。奥まで人を引き込むようにしたかったからだ。この坪庭を介して、元々のお店や蔵のある「日遊中川 本店」の庭へとつながっていく。出来上がって気がついたのだが、実はこの通り抜けの闇とその先にある光との対比が、この建物全体を引き締めてくれている。

（内藤 廣）



東側立面 2つの店舗の間を通り抜けて坪庭へ出る



ならまちの町並みと建物の夕景

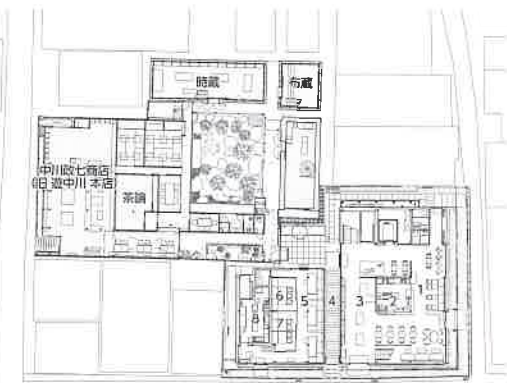
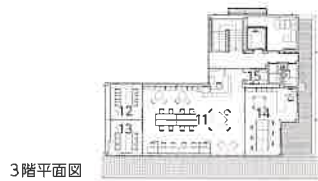
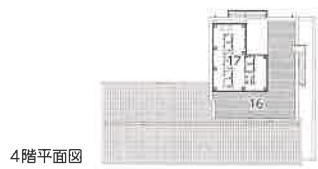


左上 / 「中川政七商店 奈良本店」の2階店舗 左下 / 1階スペシャルティコーヒー店「猿田彦珈琲」 右上 / 3階コワーキングスペース「JIRIN (じりん)」 右下 / 2階から1階へ下りる階段を見る



左上 / 北側立面 左下 / 2つの店舗の間を通る路地 右上 / 平庭の夕景 ここから元々のお店につながる
右下 / 1階のすき焼きレストラン「きつね (きつね)」

1. 客席 1
2. 厨房 1
3. 売場 1
4. 路地
5. 客席 2
6. 個室 1
7. 個室 2
8. 厨房 2
9. 売場 2
10. 試着室
11. 執務室
12. 会議室 1
13. 会議室 2
14. 会議室 3
15. 船泊室
16. 屋上テラス
17. 設備スペース



施工計画

本工事は、狭小な道路が入り組む「ならまち・元林院町」の敷地で、接する道路は幅員2m程度の、大型車両はもちろん、乗用車ですら近づくことが難しい極めて厳しい施工条件であった。

幸いにも敷地までの搬入経路兼作業ヤードを確保できたものの、敷地いっぱいの建物となることから、特に鉄骨工事に際して、設計段階から鉄骨柱の節割、建方手順について何度も設計者と念入りな打合せを行い、3節(フロアごとに柱を分割)とし、13tラフテレーンクレーンで南側・西側から順に建方を行い、最終的にはミニクローラークレーンを使用するいわゆる「迷逃げ方式」を採用した。

また、コンクリート工事に関しては、鉄骨建方が完了した後は、ポンプ車やコンクリートミキサー車を敷地に横付けすることができないため、敷地から150m程度離れた場所から配管を敷設しコンクリートを圧送した。なお、構造上、鉄骨柱がフロアごとに分節され、剛接合が少ないことから、コンクリートの打設完了までの間、様々な仮設資材を用いて建方精度の保持に努めたことで、室内に露わとなる各部の美観性を向上させることもできた。本工事では、円形鋼管柱(φ89.1mm、114.3mm、139.8mm)が採用されたが、管径が細く、一般的な口ボット加工が難しかったため、鉄骨工場自作の手動式回転加工治具を用いて、均一な溶接と直交方向の加工精度を向上させた。

SCW取付工事においては、金属の電食トラブルを回避するため、ビス等の取付部材も含めて異種金属同士の接触がないよう細心の注意を払い、リン酸処理されたSCWの各部が、ビス穴開けや切断といった現場加工により、折角の優れた耐食性に影響しないよう、協力業者とモックアップを

製作し、シール材が切れた場合でも漏水につながらない納まりを考案した。

建物を囲む金属庇取付工事に関しては、まず、鉄骨、SCW等の各部の施工誤差のしわ寄せを最終的に取返し、庇の鼻先が一直線の通りとなるよう、上下左右の調整が可能な4本のボルトにて取付けを行った。そして、ヒノキ材の軒天に際しては、作業効率と精度が著しく低下する上向き姿勢での取付作業を減らし、釘等の頭が見えないよう、庇の支持部材を軒天に差込んで固定し、美観性を向上させた。外構工事においては、土間コンクリートに「小叩き」仕上げを施すにあたり、SCWおよびガラスの取付

け後では、作業時の埃や小さな破片の飛散が危惧されたため、人力搬入が可能な重量を算定した上でサイトPC化し、それを敷設することで、作業の効率化と汚れによる影響を最小限に抑制し、加えて品質を安定させ美観性を向上させることもできた。当社は、「建築は文化形成の礎」をモットーに、創業来、頑固に真面目な「ものづくり」にこだわり続けてきたが、この度、施主様の300余年の歴史の1ページに携わることができ、心から光栄に思うとともに、施主様、設計者を始め、本工事に関わった協力業者、関係者に謝意を表する次第である。

(平井 健嗣/平井建設)



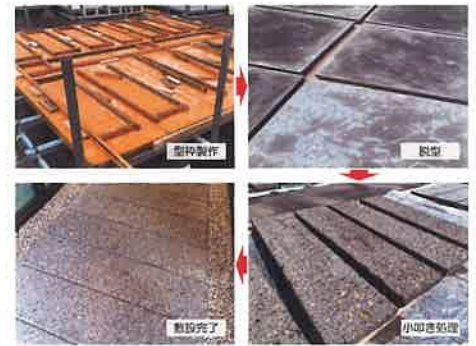
鉄骨工事(建方状況)



金属庇取付工事(左:軒天取付前・右:軒天取付中)



コンクリート工事(配管打設状況)



外構工事(RC小叩き、サイトPC化の流れ)

鹿猿狐ビルディング データ

所在地 奈良県奈良市元林院町22

主要用途 物品販売店、飲食店、事務所

建築主 株式会社中川政七商店

設計・監理 内藤廣建築設計事務所

担当/内藤 廣、蛭田和則、市村 駿、山口 昇、井上 慧祐(元所員)

構造 KAP

担当/岡村 仁、池谷聡史

設備 森村設計

担当/細川雅之、渡辺 陸、松本尚樹、栗本隆史

サイン 高い山 担当/山野英之、桑原 遼

ロゴ(荻つね) GDC 担当/水野 学

ブックディレクション BACH 担当/幅允 孝

植栽 古川三盛

施工 平井建設

担当/平井 克、平井健嗣、横山訓弘、福岡弘貴

設計期間 2019年1月~2019年9月

工事期間 2019年10月~2021年3月

【建築概要】

敷地面積 419.06㎡

建築面積 294.42㎡

延床面積 796.17㎡

店舗面積 335.03㎡

建ぺい率 70.26% (許容80%)

店舗数 3店舗

容積率 186.67% (許容240%)

構造規模 S造 地上3階

最高高さ 11.87m

軒高 8.595m

階高 3.1m、3.2m

天井高さ 2.805m、3.015m、2.435~3.875m

主なスパン 3.6m×3.6m

客用通路幅員 約1.3m

道路幅員 東4.0m、北4.0m

地域地区 商業地域、準防火地域

【設備概要】

電気設備 受電方式/低圧受電方式

空調設備 空調方式/個別空調方式 熱源/電気、ガス

衛生設備 給水/水道直結方式 給湯/個別給湯方式(電気、ガス)

排水/汚水・雑排水合流方式

防災設備 消火/消火器 排煙/自然排煙

その他/非常用照明設備、誘導灯設備、自動火災報知設備

昇降機 乗用(9人乗り)×1基

【主な外部仕上げ】

屋根 いぶし瓦

外壁 窯業系サイディング

建具 スチールカーテンウォール

外構 植栽:オカメザサ、タマリユウ、ツバキ

舗床:錆御影石、RC小叩き

【主な内部仕上げ】

客席1、売場1・2 床/ナラフローリングWPC セラミックスUV塗装 壁/内装薄塗材 天井/キーストンプレート露し、GC巻きGW吸音板

客席2、個室1・2 床/カバフローリング セラミックスUV塗装 壁/内装薄塗材 天井/キーストンプレート露し、GC巻きGW吸音板

執務室、会議室1・2・3 床/タイルカーペット(堀田カーペット) 壁/内装薄塗材 天井/吉野松小幅板張不燃処理材

撮影/浅川 敏

協力会社

内外部床コンクリート(PCP工法)	O S H I R O X
スライディングウォール工事	オ カ ム ラ
木 材	吉 田 製 材
照 明 器 具	海 藤 照 明
セキュリティ設備工事	セ コ ム
スリットみぞ蓋	カ ネ ソ ウ



内藤 廣……ないとう ひろし

1950年横浜市生まれ。1976年早稲田大学大学院修了。フェルナンド・イゲラス建築設計事務所、菊竹清訓建築設計事務所を経て、1981年内藤廣建築設計事務所を設立。2001~11年東京大学大学院にて教授・副学長を歴任。2011年~同大学名誉教授

平井 健嗣……ひらい けんじ

1982年奈良市生まれ。2012年早稲田大学大学院創造理工学研究科建築学専攻博士後期課程修了、博士(工学)。現在、平井建設代表取締役専務。2016年~関東学院大学大沢記念建築設備工学研究所研究員、2021年~関東学院大学建築・環境学部非常勤講師を兼任

